

所属・氏名 (健康科学部 心理学科 氏名: 菱村豊)

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 学習の基礎研究:動物を使っ て学習の仕組みを探る	共著	2018年12月	太田信夫(監修) シリーズ心理学と仕 事 第4巻 学習心 理学 北大路書房	学習心理学における動物を用いた基礎研究に ついて、条件づけパラダイムを中心に解説した。
2 (学術論文) Further evidence that social interaction reduces conditioned taste aversions in mice.	単著	2018年12月	Japanese Psychological Research, 電子版 doi: 10.1111/jpr.12244	マウスの味覚嫌悪条件づけは既知の同性他個 体と接触した場合に弱まるが、それは被験体が オスの場合だけであった。この結果は味覚嫌悪 の社会的減弱にとって他個体が未知か既知か ということが重要な要因ではないことを示している。
3 (学術論文) ストレス刺激呈示時のマウスの 核心温と体表面温度の変化	単著	2018年3月	広島国際大学心理 学部紀要, 5, 27-33	マウスに恐怖条件づけをおこない核心温と体表 面温度の変化を同時に測定した。動物のストレス 指標として核心温だけではなく、非侵襲的な体 表面温度も利用できる可能性が示された。
4 (学術論文) マウスにおける外的刺激によ る味覚嫌悪条件づけの妨害	単著	2016年3月	広島国際大学心理 学部紀要, 3, 3-8.	マウスの味覚嫌悪条件づけは中毒症状経験中 の断続的な弱い電気刺激によって妨害されるこ とが明らかになった。
5 (学術論文) Interactions with conspecific attenuate conditioned taste aversions in mice.	単著	2014年11月	Behavioural Processes, 111, 34- 36. Elsevier	味覚に対する中毒症状を経験後に同性他個 体と3時間一緒にされたオスマウスは、その後当該 味覚に対する嫌悪を弱めることが明らかになっ た。